拓水だより
12月号
No. 279
発行所
兵庫県漁業協同組合連合会
兵庫県水産業改良普及協会
〒652
神戸市兵庫区中の島2の2の
発行人連　兵庫県漁業協同組合
合　会
会長理事　山田岸松
TEL　681－6954～7
一部　10円

資源管理型漁業をむかえて

第27回兵庫県漁村青壮年活動実績発表大会

全国大会は沼島漁協

「魚礁漁場の有効利用」

近年、資源管理型漁業への移行が熱望されているなかで、さる11月17日兵庫県漁村青壮年活動実績発表大会が兵庫県水産会館で開催された。

この大会は、漁村青壮年の代表者が集い、日頃の研究成果を発表しあい、今後の活動方向について研究討議を行い、知識の相互交流と活動意欲の向上を図るとともに活動成果を広く県下に普及するため、県漁青連、兵庫県漁連の三者で共催しているもので今回27回を数える。

この日発表された研究成果は各々すばらしく、甲乙つけがたかったが沼島漁協の「魚礁漁場の有効利用について」が審査の結果全国大会に推薦されることになった。

大会に先きだち、小南県漁青連会長、小黒水産課長、山田県漁連会長から挨拶があり、各々漁業をとりまく現況、青壮年部員への期待などが述べられた。

一方、児島県漁婦連会長からは「現在の困難な時代を若い力の結集により乗り越えるよう。また、発表される成果を発表だけにとどまらず普及すると共によりすばらしいものにするため、研究活動を続けてもらいたい。」との励ましの言葉が送られた。

今年度の発表は

①沿岸漁業の経営改善に取組んで（但馬地区漁協青壮年部連合会）

②シタビラメの加工販売について（室津漁協青年部）

③魚礁漁場の有効利用について（沼島漁協青年部）

の3件であったが、各々が管理型漁業、省資源等現在注目されている課題をその内容に取り入れており、審査も困難をきわめたが、全国大会には沼島漁協青年部の「魚礁漁場の有効利用について」が選出された。

また技術交流報告は、

①藻場造成について（揖播地区）

②屋イカ釣の漁具漁法について（但馬地区）

③アワビの中間育成技術について（淡路地区）

④ナマコ養殖について（揖播地区）

⑤サヨリ船びき網漁業と魚類生メ技術について（但馬地区）

の5件があり、先進地技術の体得等の報告があった。

この大会で、恒例の行事となった洋上大学参加報告であるが、今年は森漁協の海川充正君が行ない、洋上大学でのすばらしい体験、感想を報告し、会場に集まった青年達にも参加を呼びかけた。

発表する沼島漁協青年部員（中央）

新規就業者を励ます

【写真】新規就業者を代表して表彰された三名

新らしく漁業に就業した青年に励ましの言葉を送り社会人としても優秀な漁業者に育ってほしいとの願いをこめ、県漁青連では毎年この大会で激励会を実施しているが、本年度の該当者一三〇名を代表して小南会長より各海区代表三名（梅崎一哉君（家島）伊藤正富君（沼島）清水雄二君（香住町））に励ましの言葉が送られ、県からは記念品が手渡された。

のり共販はじまる

順調なスタート

高値は明石浦漁協

量から質の向上をめざして開始された本年度ののり養殖は12月10日の初共販をかわきりに本格化してきた。

共販は関係漁社60社はじめ生産者等二百名の集まるなかで開かれた。

あいさつにたった塩谷県漁連専務をはじめとして、各関係者とも、今後ののり養殖が品質の向上にあることを力説している。

今年度の全国的な状況は台風20号の影響で出おくれ単価二一、六円と堅調なスタートをきった。

また、高値は明石浦漁協の特上で五、〇〇〇円と、本県はじまって以来の最高値を記録した。

のり入札回見付風景（昭和53年度）

ソ連邦漁業水域内における操業上の留意事項

水産庁は十月二十三日付ソ連邦の漁業水域における日本及びソ連邦の漁船の操業に対する取締りの実施について、関係漁業者等に対する諸問題を検討した結果、九月二十日にいくつかの問題について新たな合意に達したので、今後のソ連邦漁業水域内における操業については、関係漁業者等に対する取締りの実施についての指導を行い、遺憾なきを期されたい。

「ソ連邦漁業水域内における操業上の留意事項等について」通達した。

同通達の内容は次のとおり。

「北西太平洋のソヴィエト社会主義共和国連邦の地先沖合における一九七七年の漁業に関する日本国政府とソヴィエト社会主義共和国連邦政府との間の協定」の有効期間の延長に伴い、一九七九年における協定の実施に関してソ連側との検討の結果得られた合意事項等については、

兵庫県下・水産業界 10大ニュース

水協法施行30周年
明石で記念大会盛大に

今年は、水産業協同組合法が施行されて30年。東京での全国漁業協同組合大会をはじめ各地で記念大会が催された。

兵庫県では、6月22日に水産業協同組合法施行30周年記念・兵庫県漁業協同組合大会が明石で盛大に挙行され、県下の組織代表、友好団体代表、政府当局、県立と連帯を基調として、輝しい未来への飛躍と繁栄を思考するもの。

同大会は、過去30年にわたる漁協系統運動の成果に対する正しい評価と反省、さらに現状の認識と新しい時代への展望をもとに、自

会議員など約五〇〇名が参加した。

表彰式では、総合優良組合一〇漁協、事業別優良組合一五漁協、功労者二六二名、永年勤続者二四一名が表彰された。

大会宣言のあと、漁協系統組織の整備強化をはじめとした六項目の意見を集約した大会決議が万場一致で採択された。

また、議長団より上程された「漁業用燃油の確保と価格安定対策に関する特別決議も万場一致で採択された。

のり養殖、史上最高を記録

計画生産がつづき、全国計画生産量を大巾に上まわる年目の昭和53年度の全国のり養殖は生産量七三億枚を設定してスタート。

秋芽網生産は、暖冬で品質は低下したが、伸びが良く好調な出足となった。

また、一月下旬よりの降雨で順調な

かけがえのない海を守ろう

――公害対策講習会を開催

（社）瀬戸内海環境保全協会と兵庫県漁連共催の兵庫県漁業公害対策講習会が、11月21日、22日の2日にわたって開かれた。

この講習会は、沿岸漁場の現況を適確に把握し、公害についての洞察を深め、多様化する公害に対する知見を得るとともに、漁場環境保全に関する意識の普及を図ろうとするもので、今回は、神戸・タワーサイドホテルで開催された。

開会では、神頭副会長（兵庫県漁連）は、時機を得た本講習会で、多くの事を学び「かけがえのない海を守る」実践的態度を身につけるようあいさつをした。

講習では、伊藤水質課長が兵庫県下の水質汚濁状況を、また、成田弁護士は、内海地区で多発化している漁船衝突事故とその対応についてが話された。

二日目には、県下でも問題化しはじめている。廃棄物の処理に関連して、農協の廃プラ処理、再利用問題の進捗状況が、日本施設園芸協会・飛田部長より話され、のり網処理に関するヒントの提供があった。

合成洗剤の追放運動を積極的に推進している滋賀県からは、平塚水産係長より、地域特性を考慮した富栄養化防止条例の成立経過の講義。

最終講義は、温排水の利用研究をつづけている。（財）温水養魚開発協会、黒田常務理事の国内での温排水を利用した養魚の紹介と今後に対する展望。

2日にわたる講習は、参加者に多くの問題点を提供して終了した。

県下の水質について説明する伊藤水質課長

小型漁船検査受検はすんでいますか

――期限間近かな漁船は受験準備を――

総トン数二十トン未満の小型漁船については、又、昭和五十三年六月二十日付で「船舶安全法三十二条の漁船の範囲を定める政令」の一部改正によってわが国の海岸から二〇カイリを超える海面で従業する小型漁船については昭和五十三年八月十五日から検査が実施されております。更に十二カイリを超え二〇カイリ以内の海面で操業する小型漁船については昭和五十五年四月一日から検査が実施されます。もっとも新造船については前記の期日より即施行されることとなっておりますが、施行日に現存していた漁船については夫々に経過規程が設けられ順次実施されることとなっておりますのでご諒承の上期限到来間近な漁船については至急所属漁協と連絡の上受検準備をすすめられるようお願いします。

1、二〇カイリを超えて従業する漁船で

(1)四十七年八月十四日以前に建造されたもの‖既に該当船全船受検済（五十四年三月三十一日まで）

(2)四十七年八月十五日から五十五年四月一日から五十七年三月三十一日までに建造されたもの‖五十五年四月一日から五十七年三月三十一日までに受検完了のこと。

2、十二カイリを超え二〇カイリの間の海面で従業する漁船で

(1)昭和四十九年三月三十一日以前に建造されたもの‖五十五年四月一日から五十六年三月三十一日の間に受検完了のこと。

(2)四十九年四月一日から五十五年三月三十一日までの間に建造されたもの‖五十五年四月一日から五十七年三月三十一日までの間に受検完了のこと。

3、小型遊漁兼用船について

専ら遊漁と漁ろうに従事する総トン数二〇トン未満の船については、「小型遊漁兼用船」という定義が設けられており、これに該当する船舶安全法上は非漁船として取扱われるので遊漁に従事する場合は小型船舶安全規則が適用されます。又漁ろう期間中は小型漁船安全規則が準用されます。従って漁ろうを行う場合の区域、人員と遊漁を行う場合の区域、人員の二つが一つの検査証書に記載されます。なお五十三年八月十五日現在遊漁船としてすでに検査に合格している小型漁船のうち二〇カイリを超えて漁ろうを行うものは法定備品を追加した上臨時検査を申請し漁ろうに必要な新らしい区域を取得する手続をとって下さい。また二〇カイリ以内の海域で漁ろうを行うものは次の中間検査（中間検査を済ませているものは次の定期検査）のとき小型漁船安全規則に基づく検査を同時に行うこととなります。

漁船員安全シリーズ ⑥

海中転落

全漁種の海中転落発生状況を原因別からみると、1位‖漁具操作中。2位‖原因不明。3位‖飲酒による海中転落が大部分を占めている。なかでも漁具操作中の比率は大きく、その転落者の一〇%が救助されたのみで、あとは死亡、行方不明という結果となっている。特に寒冷海域での救助者は皆無となっている。ひとたび転落すれば、死亡に直結するという現実を、船舶所有者、乗組員共に銘記すべきである。

1、海中転落の発生状態

(1)走行中の索、網のからみを解こうとして、手足や衣服などが引っかかり、巻き込まれて海中へ（底曳、流し網、延縄）

(2)走行中の索、網の上を飛びこえようとして、足をとられて海中へ（底曳）

(3)波浪の打ち込みで転倒、ボンデン類の投下と漁獲物の取り込み作業）

(4)ブルワーク付近で作業中、急激な船体傾斜（大角度変針で横浪を受ける）で身体のバランスを崩し海中へ（底曳）

(5)舷外に身をのりだしての作業中、動揺による重心移動で海中へ（ブイ・ボンデン類の投下と漁獲物の取り込み作業）

(6)索類の飛来（破断などによる）ではねられ海中へ（底曳）

(7)歩み板からの転落（夜間通行）

(8)用便中（航海中、特に飲酒による）

二次災害として走行中の漁具などに接触して海中転落することがある。）

2、海中転落の防止策

操業中はともかくとしても、海中転落の原因としては事故発生の原因になるといわれている。近年とみに増加の傾向にあるのがノイローゼ、原因不明の投身自殺で、知らぬ間にいなくなる場合の一部を占めていると考えられる。人間の行動を常に監視することは、作業部署の限られた範囲内であっても大変困難なことである。まして自らの意志で海に身を投ずる者については、事前に人身を拘束する以外にこれを防ぐ方法はない。また、ここまでには第三者に理解できないことがあるのは当然だとしても、何らかの下地があったと見なければならない。その下地を作らないためには、和気あいあいとした何でも相談できる環境、すなわち、お互いが信頼感で結ばれた船内の人間関係を作ることこそ、この問題解決の大きな糸口ではないだろうか。また、飲酒による転落も主に用便中のことと推察される。船内便所が狭少で使用になじめないことによるものか、ついつい甲板上から海に用をたすことは、おおかたの漁船員が経験していることであり、作業中、休息中を問わず、船内便所を使用することに抵抗を感じないような設備を保持することが大切である。

（つづく）

漁協ちょっとのぞきみ

香住町漁協　中村しのぶ さん

☆プロフィール
卒業後漁協に就職。今年で5年。現在会計課に勤務。
香住に生まれ、香住をこよなく愛しつづける香住娘。

☆ちょっと一言

(問)　もう12月。今年もそろそろおわりですね。あなたにとって今年は？

(答)　省エネにはじまり、ウサギ小屋、カラ出張、ヤミ給与、公費天国とつづいた54年。いやなことの多かった年だけど反対に、良心の大切さを感じさせた年でした。

あたりまえのことかもね。

(問)　明るい予想のあまり聞かれない55年。あなたはどのように？

(答)　漁協に働き、協同の力を育てあげ、みんなが幸せになるようにがんばるわ。

それに、やさしくて、気の良い人をみつけて、私一人の幸せもみつける予定。

人事異動

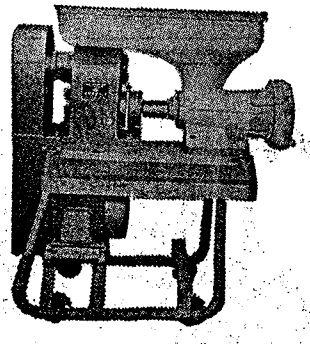
10月31日付
▼退職　梶原平子（全水共）

11月1日付
▼新規採用　奥野淳子（全水共）

火災くらし担当

火災くらし担当

養魚の調餌と造粒は
コウベヒラガのミートチヨッパーで



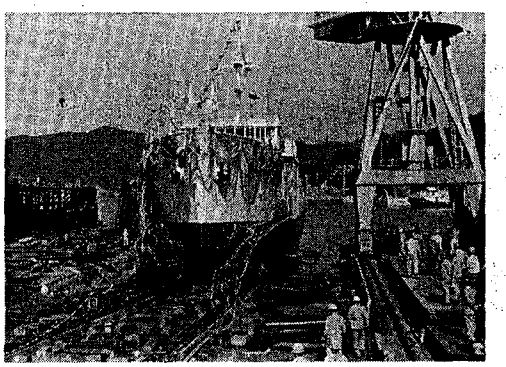
養魚用ミートチヨッパーNo.32からNo.72まで各種製作しています。
又最近の人工餌料需要の増加にともない生魚と人工餌料をよく練り合せ造粒装置付チヨッパーで給餌することもできます。

（御一報次第カタログ贈呈いたします）

ミートチヨッパーとプレート，ナイフの専門工場
株式会社 平賀工作所
神戸市長田区水笠通5番5号
TEL 代表神戸(078) 921-1527

海洋への夢をのせて

新生「但州丸」進水



進水式をむえかた但州丸（福良）

新生「但州丸」の進水式が11月27日、南淡町福良で行われた。

10年前に建造された旧但州丸は老朽化が進み、県では53年より新船建造に着手。今年8月29日に起工式がおこなわれ、11月27日に進水式をむかえた。

レセプションには、坂井県知事をはじめ、文部省・水産庁・海運局・県漁連などから二二〇名が参加した。

知事は、全国第10位の漁業生産力を誇る本県水産業の発展に欠くことのできない優秀な後継者育成の為に同練習船が大きな役割を果してくれるようにあいさつ。

同船は来年2月完成のあと、香住高校で、多目的練習船として、まぐろ延縄、北洋トロール、いかつり実習などに使用され、北はオホーツク海から南はオーストラリア近海まで、世界中をかけめぐる。

新生「但州丸」は総トン数四四〇トン（旧船三〇二トン）で4億9千万円をかけて、吉岡造船で建造されたが、旧船に較べ、生徒の居住空間を拡げる一方、最新の航海計器を装置するなど近代的様相をととのえている。完成後は、指導教官、調査員、練習生など四七名をのせて航海する。

生徒の夢をのせて世界をはばたく日も間近い。

漁協一代（その八）

作花英治

放浪記（六）

午前中で府県境の峠を越したが下り坂になってから二人ともようやく疲れはじめその中次第に空腹を感ずるようになった。

が山の中とて茶店一つなく、とっぷりと暮れた暗の中を気息奄々と最後のコースに入った。二足目のわらじはすり切れ足が痛くあってその前に掘り飯がやら、完全にグロッキーになっていた。あと四キロという地点で、その頃豊岡に二台しか無かった乗用車がヘッドライトを輝かせて我々の前に停った。徒歩で帰るという電話は聞いていたがあまり遅いので心配した女医がむかえに来たというわけだ。ところが人間は妙なもので、むかえに来られると逆に反抗したくなるもので「切角ここまで歩き続けたのだから、残りの道のりも完歩したい」ととなえて、脚をひきづりひきづりついに豊岡の街に帰りついた。所持金は一五銭残っていたので医院の三軒手前のうどん屋で一ぱい六銭の素うどんを一つづつ平げ、這うようにして家にたどりついた次第だが、おかげで二人共二十三日歩行困難であった。若気の至りとは言え無茶をしたものだった。

× × × ×

世の中はせまいもので私たちがこのとき使した宮津市のカトリック教会には、ルイ・ルラーブというフランス人の神父（かなりの老人であった）が居て、その秘書に赤野伊之助という人がいた。神父は女医の招きで豊岡に来たこともあり、赤野氏は勿論同行されたので私とも顔見知りであったが、この赤野氏が、現京都漁連浜中会長の妹さんのご主人であることを私が漁連会長会議などで浜中氏の知遇を得るようになったとき、座談の際このことを聞き、正にカトリックで謂う「神のみ心」であると異教徒である私も感嘆久しうしたものである。ちなみに赤野氏は現在東京で丹後特産チリメンの御商を手広くやっておられる由である。

（つづく）

育て種苗 漁民のねがいをこめて

アサリ稚貝放流

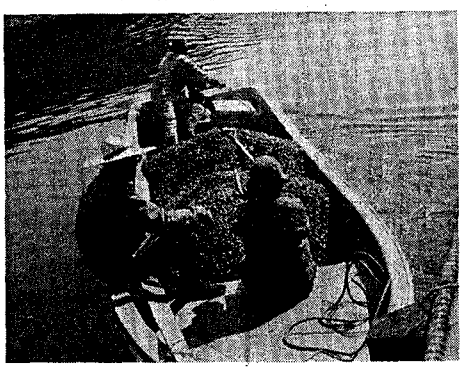
恒常化する赤潮により瀬戸内で操業する漁業者は、毎年、大きな打撃をこうむっている。

このため、（財）兵庫県水産公害対策基金と兵庫県漁連では、赤潮で減少した資源の回復を図ろうと、毎年、一千五百万円～二千三百万円の予算で赤潮対策種苗放流事業を実施している。

今年は、アイナメ、ヒラメ、マダイ、アカガイ、ハマグリなどが、瀬戸内の各地で放流されている。

今回、放流されたのは、アサリ稚貝12.4トン。

放流場所は、姫路市と、御津町・赤穂市で、順調に育てば、来年には商品として消費者の食卓を飾ることになる。



アサリ放流に向かう福浦漁協員

「漁協の福祉に関する実態調査」の協力依頼

漁村福祉対策の確立は、今日の厳しい漁業環境の中で、緊要の問題であることは周知のことと存じます。

このため全漁連では漁村福祉改善対策検討委員会を設置し、漁業者の老後問題を重点課題として漁業者年金の創設、農業者年金への漁業者加入等々あらゆる角度から税意検討されてきましたが公的年金制度の一元化が叫ばれる今日、いずれも制度運用面で難しい壁に直面しています。

しかし、現行制度の中では沿岸漁業者（船員保険非適用者）は、国民年金しか加入できないという実状から漁業者独自の年金制度創設には根強い要望があるところから、全漁連では当面施策として、国民年金に上積みする国民年金基金制度の活用と自主的年金制度の行的に実施することになりました。

ついては、これら制度を具体化するためには、従来不充分であった漁業者の社会保険への加入状況を的確に把握することと、現在漁協が行っている福祉活動を明確に知ることが第一であるとのことから、このたび詳細かつ大規模な調査を実施することになりました。

深い認識と理解のもとに本調査の完全実施方ご努力賜わりますようお願い申し上げます。

兵庫県漁業年表（昭和26年）

年次	社会一般事項	本県漁業界主要事項
昭和26年（1951）	1月 但馬漁連漁業用海岸局開設 1月 全国水産業協同組合共済会設立 3月 水協法改正（法律第14号）（財務基準、定期検査制度等） 3月 食糧配給公団廃止 4月 農林中央金庫、農林漁業資金の受託貸付開始 4月 農漁業協同組合再建整備法公布施行（法律第140号） 5月 水産業協同組合財務処理基準公布（政令第141号） 5月 水産庁小型底曳整理5ケ年計画決定 5月 全国漁業権補償額決定（1,780,641万円） 5月 第1次漁港整備計画はじまる 7月 漁業資材配給規則の廃止 7月 高砂市地先の工場汚水問題起こる 8月 瀬戸内海漁業取締規則公布施行 9月 石油製品配給規則の1部適用停止（潤滑油） 9月 漁業権証券発行交付規程公布 9月 サンフランシスコ講和条約調印 9月 日米安保条約調印 9月 姫路市網干地先の汚水問題起こる 10月 ルース台風（本県水産被害2億2千万円） 12月 水産資源保護法公布	3月 水協法改正にて漁協の常例検査制度はじまる 4月 漁船法施行、細則制定漁船一斉検認、建造承認制度廃止 5月 農林省第1次漁港整備計画により12漁港を指定 5月 本県漁業権補償額決定（47,847万円） 6月 揖津、但馬海区の漁場計画公示 7月 淡路、播磨海区の漁場計画公示 7月 漁業権等補償計画公示 8月 県漁業調整規則制定公布施行 9月 新旧漁業権の第1回切替 9月 兵庫丸進水（51屯） 9月 漁業5団体の再建整備はじまる 10月 兵庫県信用漁業協同組合連合会設立 10月 兵庫県漁業協同組合連合会設立 10月 台風取ルース台風で徳山港にて沈没 11月 漁業権証券資金化協議会設立

一滴の燃料を生かす確かな技術
余裕の出力、曳き力抜群！
●船舶主機用3.0～2400馬力●
●船舶補機用3.5～3600馬力●
ヤンマーディーゼル
●ほしいカタログをお送りします・本社・営団部・まで
船舶主機
〈内海底曳用〉
3E15B形
〈15馬力/1400回転〉
ヤンマーディーゼル株式会社
本社 大阪市北区茶屋町62 〒530 TEL(06)372-1111(代)
支店 札幌・東京・名古屋・大阪・高松・広島・福岡 営業所 仙台

いすゞ マリンエンジン
高速への挑戦！
UM06BBIB
特長
1.小型、軽量、高出力
2.卓越した耐久性、信頼性
神戸いすゞ自動車株式会社
〒658 神戸市東灘区住吉浜町17
TEL(078)811-1171㈹